

**平成23年度「家庭教育支援の効果に関する調査研究」**

**報告書（概要版）**

**平成24年3月**

**株式会社三菱総合研究所**

# 目次

1. 要旨	3
2. 調査研究の概要	18
2.1 背景・目的	18
2.2 調査対象	18
2.3 調査対象地域の選定方針	18
2.4 調査項目	18
2.5 効果測定の方法	19
2.6 回収状況	19
3. 単純集計結果	20
3.1 単純集計	20
3.1.1 講座型(保護者)	20
3.1.2 講座型(教員)	26
3.1.3 講座型(地域の支援者・企画者)	29
3.1.4 講座型(行政担当者)	35
3.1.5 チーム型(保護者)	39
3.1.6 チーム型(教員)	46
3.1.7 チーム型(地域の支援者・企画者)	49
3.1.8 チーム型(行政担当者)	54
3.1.9 早寝早起き朝ごはん(保護者)	59
3.1.10 早寝早起き朝ごはん(教員)	65
3.1.11 早寝早起き朝ごはん(地域の支援者・企画者)	67
3.1.12 早寝早起き朝ごはん(行政担当者)	71

# 1. 要旨

## 1 調査概要

### □目的

- 様々な家庭教育支援施策の効果や役割を明らかにし、今後の施策や取組の推進に役立てる。

### □方法

- 効果測定アンケート調査
  - 全国34地域
    - 「家庭教育学級」などの家庭教育に関する学習機会の提供(講座型):8地域
    - 「家庭教育支援チーム」などのチーム型支援(チーム型):22地域
    - 「早寝早起朝ごはん運動」:4地域
  - 対象者
    - 行政(教育委員会)担当者
    - 学校教員(幼稚園、小学校、中学校)
    - 地域の支援者・企画者
    - 保護者
- 実践事例インタビュー調査
  - 全国8地域(講座型:2地域、チーム型:4地域、早寝早起朝ごはん:2地域)

1

## 1 調査概要～調査項目(アンケート調査)～

■効果の種類ごとに測定指標を調査項目に設定(「子どもへの効果」、「家庭への効果」、「学校への効果」、「地域への効果」、「問題の予防・解決への効果」) ※この他に回答者属性、取組内容、課題等も収集

### 子どもへの効果

- 生活習慣の改善
- 学習意欲の向上
- 体力の向上
- 社会性(あいさつをする等)の向上
- 「自ら学び自ら考える力」の向上

### 家庭への効果

- 子育てに必要な知識・意欲の向上
- 子育てに対する悩みや不安、孤立感の軽減
- 家族で協力した子育ての実現
- 学校と協力(相談)した子育ての実現
- 地域とつながりを持った子育ての実現
- 子育てに関する必要な情報の適時入手
- 子育てに関する身近な相手への相談の実現

### 学校への効果

- 教職員と保護者の信頼・協力関係の確立
- 教職員と地域住民の信頼・協力関係の確立
- 教職員の支援の届きにくい困難家庭の状況理解の実現
- 教職員に過度な負担の集中

### 地域への効果

- 地域全体での子どもを育てる意識の向上
- 地域の中での子育てに関わる知識・スキルを有する人材の増加
- 地域人材の地域の子育てに参画の増加
- 支援に関わっている地域人材の知識・スキルの向上
- 支援に関わっている地域人材のネットワークの拡大
- 支援に関わっている地域人材の生きがいの強まり

### 問題の予防・解決への効果

- 仕事で忙しい家庭への子育てに関する情報提供の実現
- 学校の活動に積極的に参加することのない家庭への子育てに関する情報提供の実現
- 困難を抱える家庭教育に関する課題の状況の早期発見
- 子育てに関する専門機関へのつながりの円滑化(地域・学校・福祉等のネットワークが強化された)
- 不登校など子どもに関わる課題の改善・減少
- 児童虐待の予防や早期対応など困難課題の改善・減少

2

## 1 調査概要～回収率等(アンケート調査)～

調査対象		発送数	有効回答数	有効回答率
講座型	教職員	1365	919	67.3%
	保護者	8400	5863	69.8%
	地域の支援者・企画者	345	211	61.2%
	行政(教育委員会)担当者	8	8	100%
チーム型	教職員	875	455	52.0%
	保護者	4600	1827	39.7%
	地域の支援者・企画者	440	162	36.8%
	行政(教育委員会)担当者	22	17	77.3%
早寝	教職員	676	425	62.9%
	保護者	4160	2551	61.3%
	地域の支援者・企画者	80	47	58.8%
	行政(教育委員会)担当者	4	4	100%

3

## 2 調査結果概要～各施策による効果の特徴～

### 講座型

- 家庭に関して、「必要な知識・意欲の向上」、「悩み・不安・孤立感の軽減」の効果が大きい
- 学校に関して、「教職員と保護者の信頼関係の強化」の効果が大きい
- 地域に関して、「地域人材(支援者)のネットワークの拡大」、「地域人材(支援者)の知識・スキル向上」、「地域全体で子どもを育てる意識の向上」の効果が大きい

### チーム型

- 家庭に関して、「必要な知識・意欲の向上」、「悩み・不安・孤立感の軽減」、「必要な情報の適時入手」、「身近な相手への相談」、「家族で協力した子育て」の効果が大きい
- 学校に関して、「困難家庭の状況理解の深まり」の効果が大きい
- 地域に関して、「地域人材(支援者)の知識・スキル向上」、「地域人材(支援者)のネットワークの拡大」等、複数の効果が大きい
- 問題予防・解決に関して、「専門機関へのつながりの円滑化」、「困難家庭の状況の早期発見」、「仕事で多忙な家庭への情報提供」の効果が大きい

### 早寝早起き朝ごはん

- 家庭に関して、「必要な知識・意欲の向上」の効果が大きい
- 子どもに関して、「生活習慣の改善」の効果が大きい
- 地域に関して、「地域人材(支援者)のネットワークの拡大」、「地域全体での子育て意識の向上」等、複数の効果が大きい

※効果があつたかの設問に対し「そう思う」「ややそう思う」の回答率の合計が50%以上のものを抽出

5

## 2 調査結果概要～各施策による効果の特徴～

分野	効果項目	施策		
		関係型	チーム型	早業
家庭	必要な知識・意識の向上	○ 74.9%	● 77.4%	● 63.5%
	悩み・不安・孤立感の軽減	● 54.4%	● 74.7%	
	家族で協力した子育て		● 54.9%	
	必要な情報の適時入手		● 62.1%	
	身近な相手への相談		● 60.0%	
子ども	生活習慣の改善			● 53.9%
学校	教職員と保護者の信頼関係の強化	● 52.4%		
	困難家庭の状況理解の深まり		● 53.1%	
地域	地域全体で子どもを育てる意識の向上	● 52.4%		● 73.4%
	地域の子育て人材の増加		● 59.4%	● 60.9%
	地域人材の子育て参画の増加		● 54.0%	● 60.8%
	地域人材(支援者)の知識・スキル向上	● 64.7%	○ 86.9%	● 65.2%
	地域人材(支援者)のネットワークの拡大	● 72.0%	● 84.5%	○ 82.6%
	地域人材(支援者)の生きがいの増大			● 69.5%
予防解決	仕事で多忙な家庭への情報提供		● 54.1%	—
	困難家庭の状況の早期発見		● 59.6%	—
	専門機関へのつなぎの円滑化		● 66.3%	—

※効果があったかの設問に対し「そう思う」「ややそう思う」の回答率の合計が50%以上のものを抽出  
 ※各効果の調査者：家庭(保護者)、子ども及び学校(教員)、地域及び予防解決(支援者・全調査者)  
 ※○は各施策でもっとも高い効果となった項目  
 ※— はアンケート調査項目としていない効果

6

## 2 調査結果概要～各施策による効果の特徴～

分野	効果項目	施策		
		関係型	チーム型	早業
家庭	必要な知識・意識の向上	○ 74.9%	● 77.4%	● 63.5%
	悩み・不安・孤立感の軽減	● 54.4%	● 74.7%	
	家族で協力した子育て		● 54.9%	
	必要な情報の適時入手		● 62.1%	
	身近な相手への相談		● 60.0%	
子ども	生活習慣の改善			● 53.9%
学校	教職員と保護者の信頼関係の強化	● 52.4%		
	困難家庭の状況理解の深まり		● 53.1%	
地域	地域全体で子どもを育てる意識の向上	● 52.4%		● 73.4%
	地域の子育て人材の増加		● 59.4%	● 60.9%
	地域人材の子育て参画の増加		● 54.0%	● 60.8%
	地域人材(支援者)の知識・スキル向上	● 64.7%	○ 86.9%	● 65.2%
	地域人材(支援者)のネットワークの拡大	● 72.0%	● 84.5%	○ 82.6%
	地域人材(支援者)の生きがいの増大			● 69.5%
予防解決	仕事で多忙な家庭への情報提供		● 54.1%	—
	困難家庭の状況の早期発見		● 59.6%	—
	専門機関へのつなぎの円滑化		● 66.3%	—

※効果があったかの設問に対し「そう思う」「ややそう思う」の回答率の合計が50%以上のものを抽出  
 ※各効果の調査者：家庭(保護者)、子ども及び学校(教員)、地域及び予防解決(支援者・全調査者)  
 ※○は各施策でもっとも高い効果となった項目  
 ※— はアンケート調査項目としていない効果

【3施策共通】  
 「必要な知識・意識の向上」  
 「地域人材の知識・スキル向上」  
 「地域人材のネットワークの拡大」

【チーム型】  
 全体的に高い効果のみられた項目が多い  
 家庭教育支援の重要課題である「悩み・不安・孤立感の軽減」で高い効果

【特定の施策のみに見られる高い効果】  
 関係型のみ  
 「教職員と保護者の信頼関係の強化」  
 チーム型のみ  
 「家族で協力した子育て」、「必要な情報の適時入手」、「身近な相手への相談」  
 「困難家庭の状況理解の深まり」  
 「仕事で多忙な家庭への情報提供」、「困難家庭の状況の早期発見」、「専門機関へのつなぎの円滑化」  
 早業のみ  
 「生活習慣の改善」  
 「地域人材の生きがいの増大」

【早業】  
 地域に関する効果で多くの項目で高い効果

7

## 2 調査結果概要～活動の工夫による効果の特徴：チーム型支援～

効果等	項目	学校の協力に関する活動の工夫			
		チーム型 協働	戸別訪問の 併行	教職員会 の活用	専門機関 へのつなぎ
家庭	必要な知識・意欲の向上		12.6	▲	
	悩み・不安・孤立感の軽減	21.2	●	16.7	▲
子ども	生活習慣の改善	20.0	●	16.5	▲
	学習意欲の向上	11.4	▲	17.7	▲
	体力の向上				
学校	教職員と保護者の信頼関係の強化	23.4	●	32.8	○
	教職員と地域住民の信頼関係の強化	28.8	●	12.2	▲
	困難家庭の状況理解の深まり	28.8	●	35.5	○
	教職員の負担軽減		32.2	○	19.1
地域	地域全体で子どもを育てる意識の向上	20.8	●		
	地域の子育て人材の増加	17.3	▲		
	地域人材の子育て支援参加の増加	20.0	●		
予防 解決	仕事で多忙な家庭への情報提供	21.6	●	18.1	▲
	学校活動に積極参加のない家庭への情報提供		29.9	●	
	困難家庭の状況の早期発見	45.8	○	33.7	○
	専門機関へのつなぎの円滑化	17.3	▲	25.5	●
	不登校の改善・減少	23.7	●	46.9	○
児童虐待等の予防・早期対応	32.3	○	30.6	○	

※数値は、工夫の実施例と未実施例別に、効果があったかの質問に対し「そう思う」「ややそう思う」の教職員の割合率を合計し、その差を算出したものの※記号は差の大きさにより区分け：  
○30以上 ●20以上30未満 ▲10以上20未満

□学校の協力が、困難の予防・解決全般に大きく寄与

□学校の協力が、学校に対する幅広い効果に寄与

□学校の協力が、教職員の負担軽減にも寄与

□「困難家庭の状況の早期発見」で相対的に大きく寄与

□とくに「チームへの助言」による効果が大きい

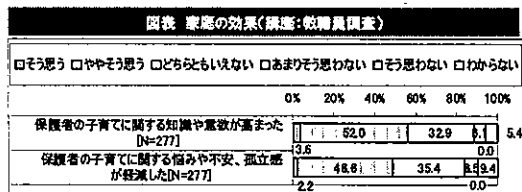
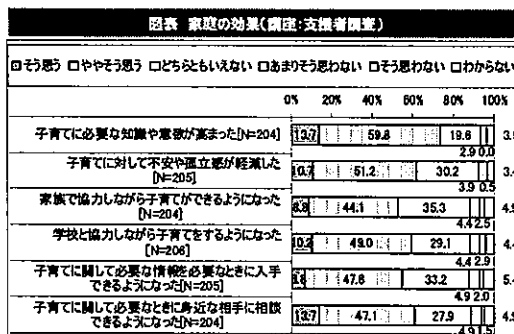
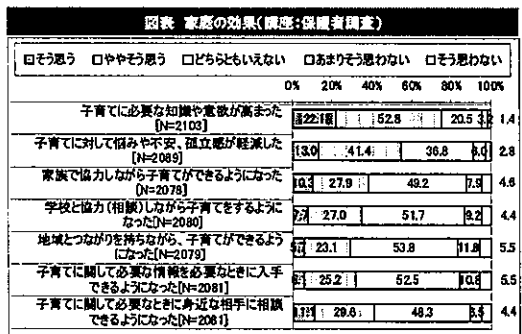
□「戸別訪問への併行」が、「不登校の改善・減少」に特に大きく寄与

□「チームへの助言」や「戸別訪問への併行」が、「児童虐待等の予防・早期対応」に大きく寄与

8

## 3 調査結果～講座型：家庭に関する効果～

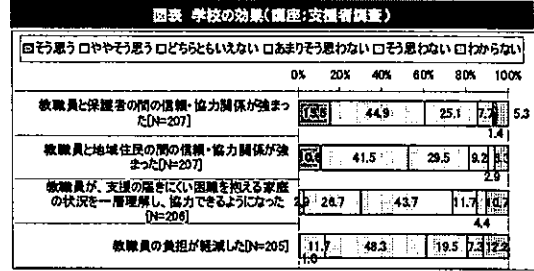
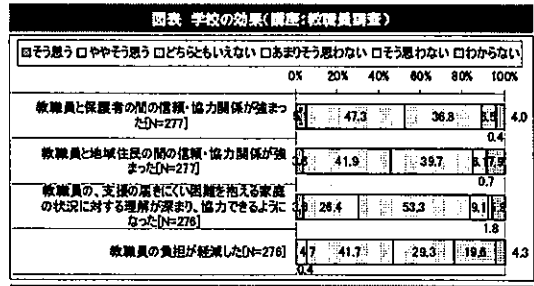
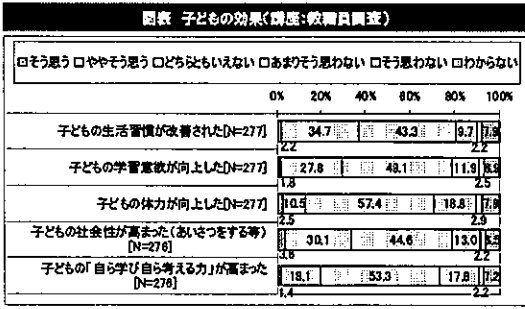
講義の効果(保護者の参加効果)：「必要な知識・意欲の向上(75%)」、「悩み・不安・孤立感の軽減(54%)」、「身近な相手に相談できるようになった(41%)」(保護者調査)が上位(数字は「そう思う」、「ややそう思う」の回答率の合計、以下同様)  
 最上位2点は、調査対象によらず共通の傾向



9

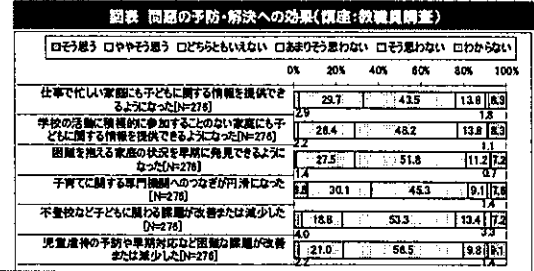
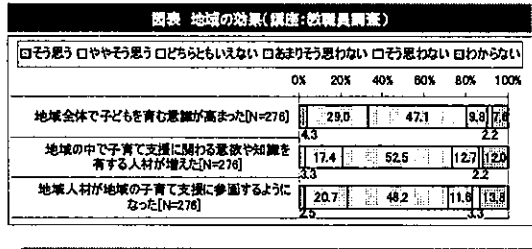
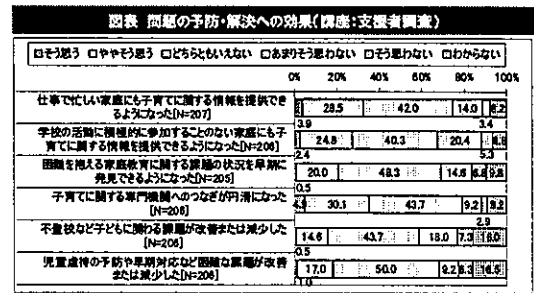
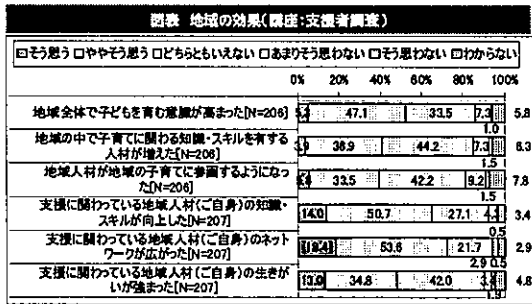
### 3 調査結果～講座型：子ども／学校に関する効果～

■子どもの効果：「生活習慣の改善(37%)」、「社会性の向上(34%)」、「学習意欲の向上(30%)」が上位(教職員調査)  
 ■学校の効果：「教職員と保護者の信頼関係の強化(52%)」、「教職員と地域住民の信頼関係の強化(46%)」が上位。「教職員の負担軽減」は、「そう思わない」が49%(いずれも教職員調査)



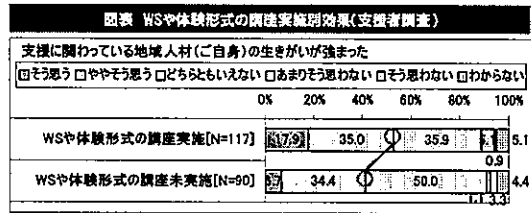
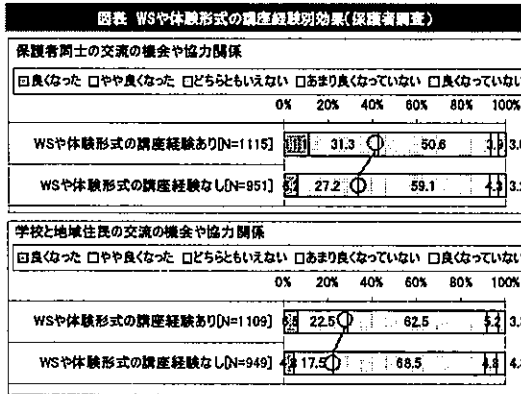
### 3 調査結果～講座型：地域／問題の予防・解決に関する効果～

■地域の効果：「地域人材(支援者)のネットワークの拡大(72%)」、「地域人材(支援者)の知識・スキル向上(65%)」と支援者自身の効果が上位となり、次いで「地域全体で子どもを育てる意識の向上(52%)」(支援者調査)  
 ■問題の予防・解決への効果：「専門機関へのつなぎの円滑化(35%)」、「忙しい家庭への情報提供の実現(32%)」が上位(支援者調査)



### 3 調査結果～講座型:WS・体験形式の効果～

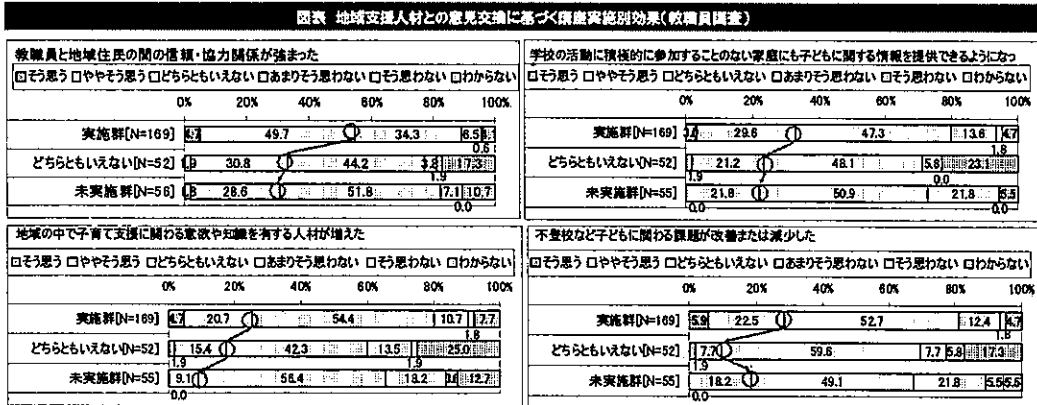
- ワークショップ(WS)や体験形式など保護者が主体的に参加できる内容の講座は、そうでない講座に比べ以下の傾向がある。
  - 家庭の効果:「保護者同士の交流機会や協力関係」、「学校と地域住民の交流機会や協力関係」、「必要な情報の適時入手」、「支援人材の生きがいの増大」などで、効果が相対的に大きい(保護者調査)(※1)
  - 地域の効果:「地域人材(支援者)の生きがいの向上」で、効果が相対的に大きい(支援者調査)(※2)



※1:一方、「悩み・不安・孤立感の軽減」で相対的に効果が小さい(教職員調査(▲8pt))  
 ※2:一方、「地域人材の地域の子育てへの参画」で相対的に効果が小さい(支援者調査(▲15pt))

### 3 調査結果～講座型:地域支援人材との意見交換の効果～

- 企画・実施時に地域の支援人材と定期的に意見交換を行っている講座は、そうでない講座に比べ以下の傾向がある。
  - 学校の効果:「教職員と地域住民の情報関係の強化」で、効果が相対的に大きい(教職員調査)
  - 地域の効果:「地域で子育て支援に係る意欲・知識を有する人材の増加」で、効果が相対的に大きい(教職員調査)
  - 問題の予防・解決への効果:「学校の活動に積極的に参加しない家庭への情報提供」、「不登校等の改善・減少」などで、効果が相対的に大きい(教職員調査)(※1)

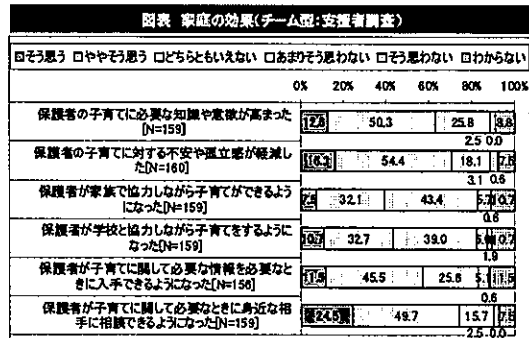


※1:このほか、「忙しい家庭への情報提供の実現」、「困難家庭の状況の早期発見」、「専門機関へのつなぎの円滑化」、「児童虐待の予防・早期対応」で効果がみられた



### 3 調査結果～チーム型:家庭に関する効果～

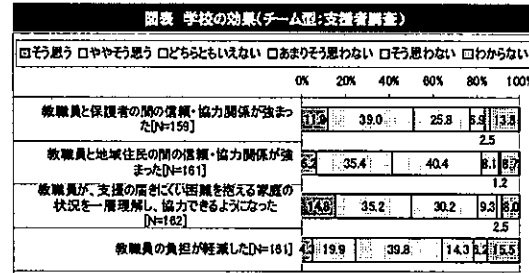
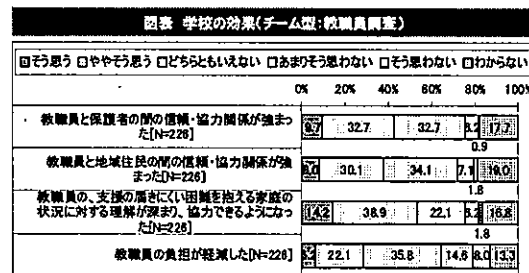
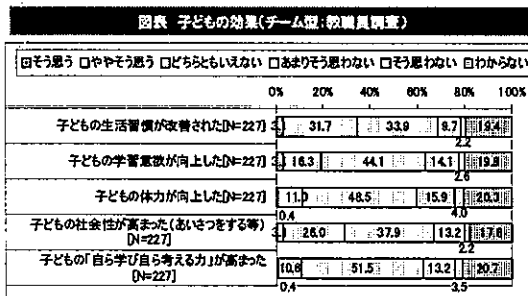
■家庭の効果:「必要な知識・意欲の向上(77%)」、「悩み・不安・孤立感の軽減(75%)」、「必要な情報の速時入手(62%)」(保護者調査)が上位  
 ■支援者調査では、「必要な知識・意欲向上」よりも「身近な相手に相談できるようになった」、「悩み・不安・孤立感の軽減」の方が上位  
 ■戸別訪問の受入経験のある保護者は、ない保護者に比べ、「必要な知識・意欲」、「学校と協力した子育て」で、効果が相対的に大きく、「専門家等による訪問等の定期的サポート」、「地域住民の子育てへの協力」などで、満足度が相対的に高い(保護者調査)(※1)



※1:このほか、「教員との情報共有」、「子育てに関する情報提供」、「他の保護者との交流機会」、「子育てに関する電話相談・相談機関」などでも、満足度が相対的に高い(保護者調査)

### 3 調査結果～チーム型:子ども/学校に関する効果～

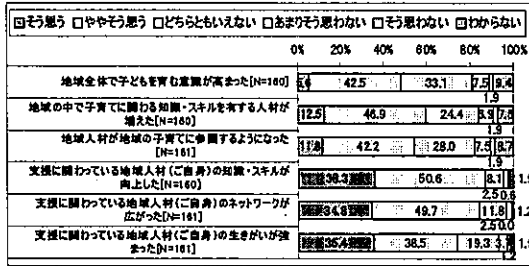
■子どもの効果:「生活習慣の改善(35%)」、「社会性の向上(28%)」、「学習意欲の向上(19.4%)」が上位  
 ■学校の効果:「困難家庭の状況理解の深まり(53%)」、「教職員と保護者の信頼関係の強化(42%)」が上位 (いずれも教職員調査)



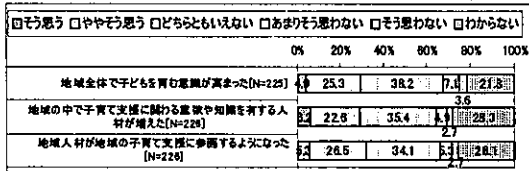
### 3 調査結果～チーム型：地域/問題の予防・解決に関する効果～

■地域の効果：「地域人材(支援者)の知識・スキル向上(87%)」、「地域人材(支援者)のネットワークの拡大(85%)」と支援者自身の効果が上位(支援者調査)  
 ■問題の予防・解決への効果：「専門機関へのつなぎの円滑化(66%)」、「困難家庭の状況の早期発見(60%)」が上位(支援者調査)

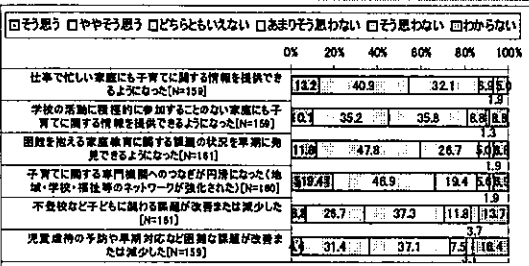
図表 地域の効果(チーム型：支援者調査)



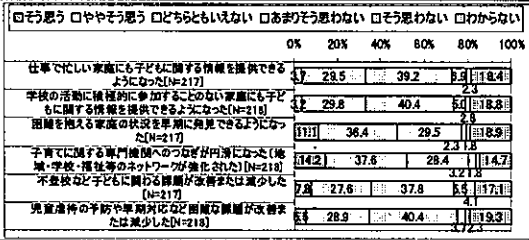
図表 地域の効果(チーム型：教職員調査)



図表 問題の予防・解決への効果(チーム型：支援者調査)



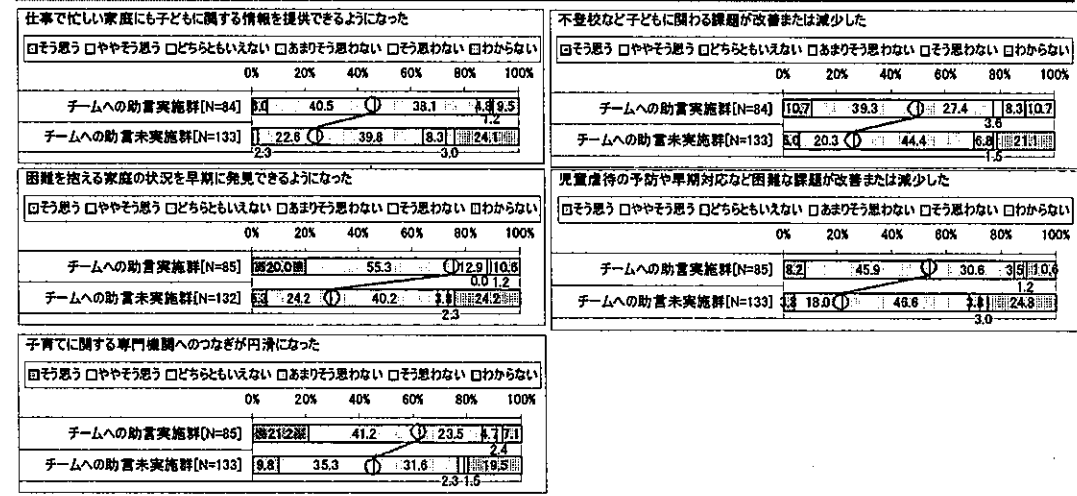
図表 問題の予防・解決への効果(チーム型：教職員調査)



### 3 調査結果～チーム型：学校のチームへの助言の効果①～

■学校(教職員)の家庭教育支援チームへの助言を行っている取組は、そうでない取組に比べ以下の傾向がある。  
 ■問題の予防・解決への効果：「忙しい家庭への情報提供の実現」、「困難家庭の状況の早期発見」、「専門機関へのつなぎの円滑化」、「不登校等の改善・減少」、「児童虐待の予防・早期対応」で、効果が相対的に大きい(教職員調査)

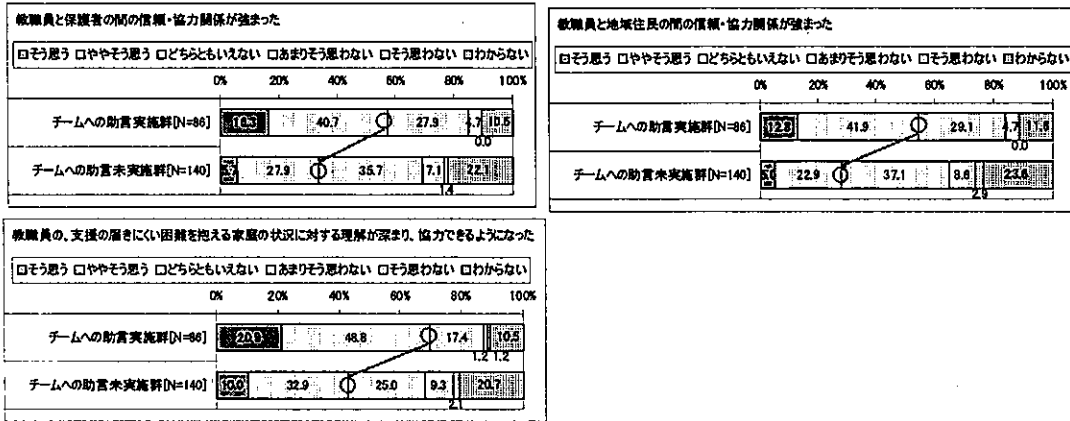
図表 学校のチームへの助言の効果(チーム型：教職員調査)



### 3 調査結果～チーム型:学校のチームへの助言の効果②～

■「学校(教職員)の家庭教育支援チームへの助言」を行っている取組は、そうでない取組に比べ以下の傾向がある。  
 ■学校の効果:「教職員と保護者の信頼関係の強化」、「教職員と地域住民の信頼関係の強化」、「困難家庭の状況理解の深まり」で、効果が相対的に大きい(教職員調査)

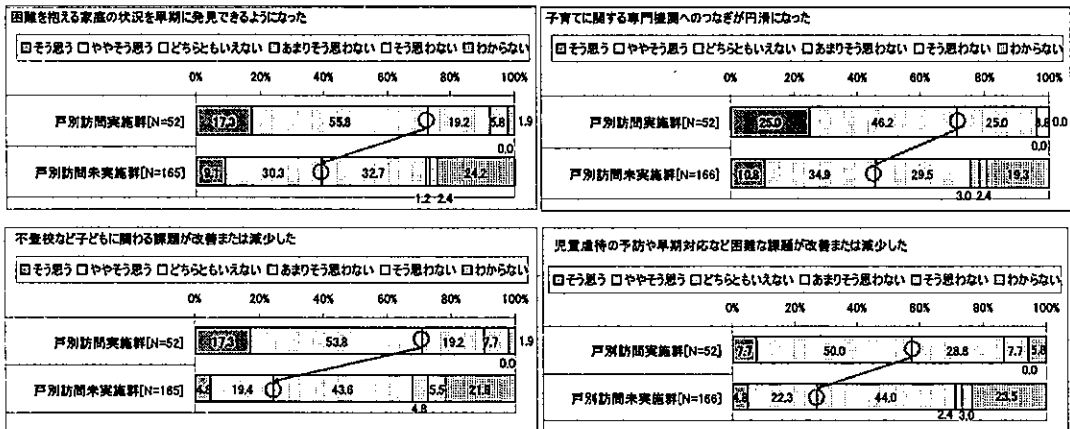
図表 学校のチームへの助言の効果(チーム型:教職員調査)



### 3 調査結果～チーム型:学校の戸別訪問同行の効果①～

■「学校(教職員)の戸別訪問への同行」を行っている取組は、そうでない取組に比べ以下の傾向がある。  
 ■問題の予防・解決への効果:「忙しい家庭への情報提供の実現」、「学校の活動に積極的に参加しない家庭への情報提供」、「困難家庭の状況の早期発見」、「専門機関へのつなぎの円滑化」、「不登校等の改善・減少」、「児童虐待の予防・早期対応」で、効果が相対的に大きい(教職員調査)

図表 学校の戸別訪問同行の効果(チーム型:教職員調査)

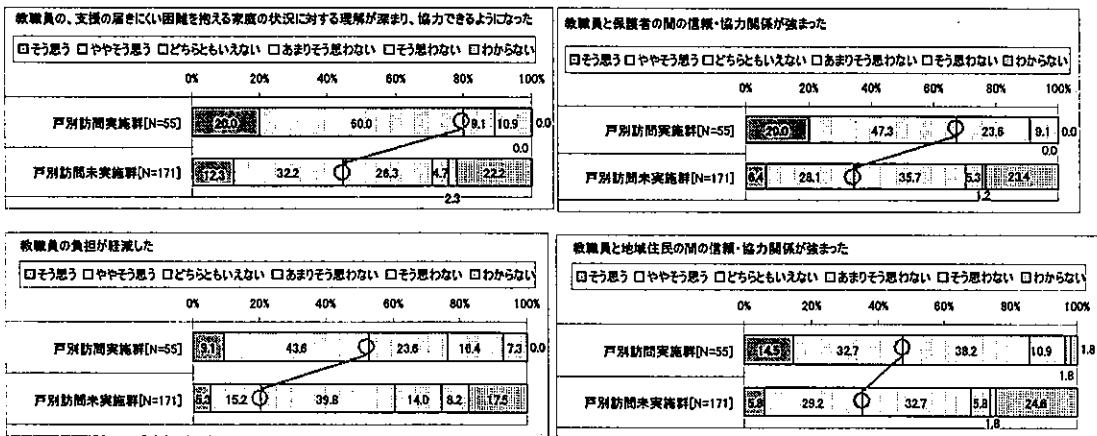


### 3 調査結果～チーム型:学校の戸別訪問同行の効果②～

■「学校(教職員)の戸別訪問への同行」を行っている取組は、そうでない取組に比べ以下の傾向がある。

■学校の効果:「困難家庭の状況理解の深まり」、「教職員の負担軽減」、「教職員と保護者の信頼関係の強化」、「教職員と地域住民の信頼関係の強化」で、効果が相対的に大きい(教職員調査)

図表 学校の戸別訪問同行の効果(チーム型:教職員調査)

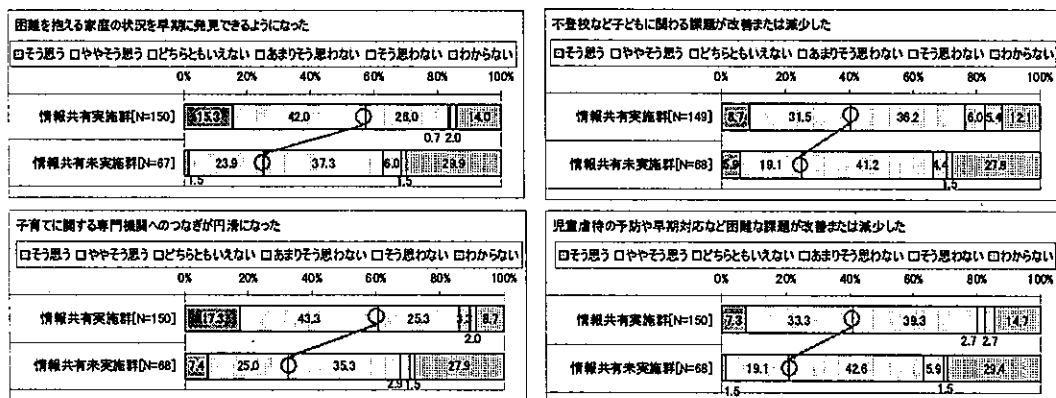


### 3 調査結果～チーム型:学校の情報共有会議の効果①～

■「学校(教職員)や家庭教育支援チームでの情報共有会議」を行っている取組は、そうでない取組に比べ以下の傾向がある。

■問題の予防・解決への効果:「困難家庭の状況の早期発見」、「専門機関へのつなぎの円滑化」、「不登校等の改善・減少」、「児童虐待の予防・早期対応」で、効果が相対的に大きい(教職員調査)

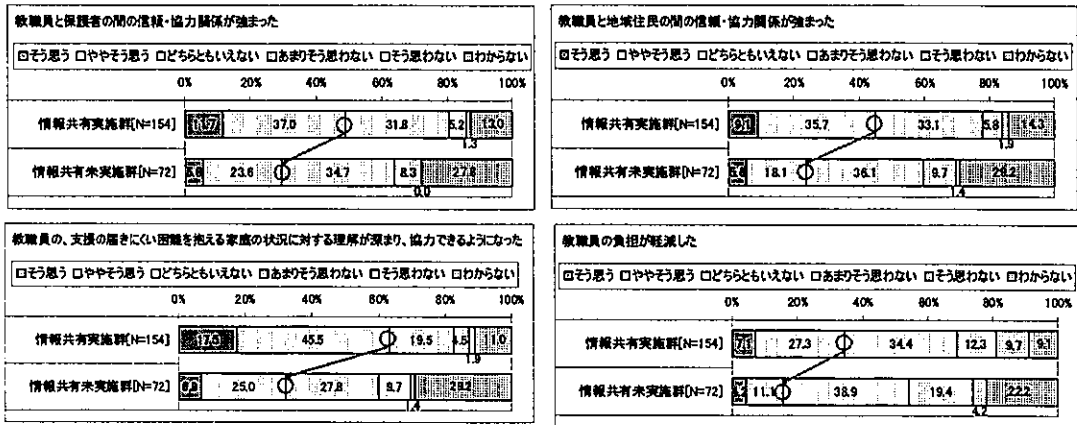
図表 学校の情報共有会議の効果(チーム型:教職員調査)



### 3 調査結果～チーム型:学校の情報共有会議の効果②～

■「学校(教職員)や家庭教育支援チームでの情報共有会議」を行っている取組は、そうでない取組に比べ以下の傾向がある。  
 ■学校の効果:「教職員と保護者の信頼関係の強化」、「教職員と地域住民の信頼関係の強化」、「困難家庭の状況理解の深まり」、「教職員の負担軽減」で、効果が相対的に大きい(教職員調査)

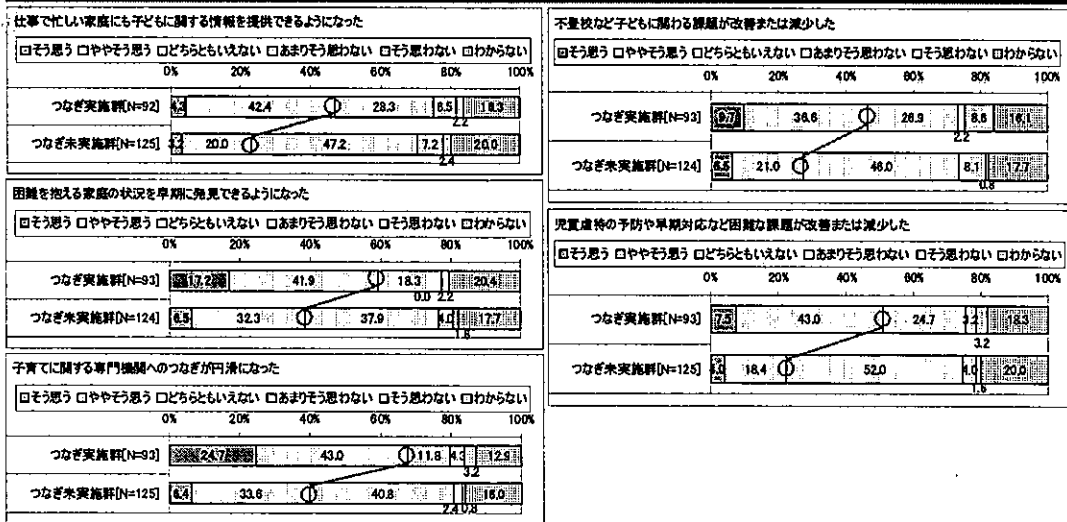
図表 学校の情報共有会議の効果(チーム型:教職員調査)



### 3 調査結果～チーム型:学校の専門機関へのつなぎの効果①～

■「学校(教職員)が子育てに関する専門機関へのつなぎ」を行っている取組は、そうでない取組に比べ以下の傾向がある。  
 ■問題の予防・解決への効果:「忙しい家庭への情報提供の実現」、「困難家庭の状況の早期発見」、「専門機関へのつなぎの円滑化」、「不登校等の改善・減少」、「児童虐待の予防・早期対応」で、効果が相対的に大きい(教職員調査)

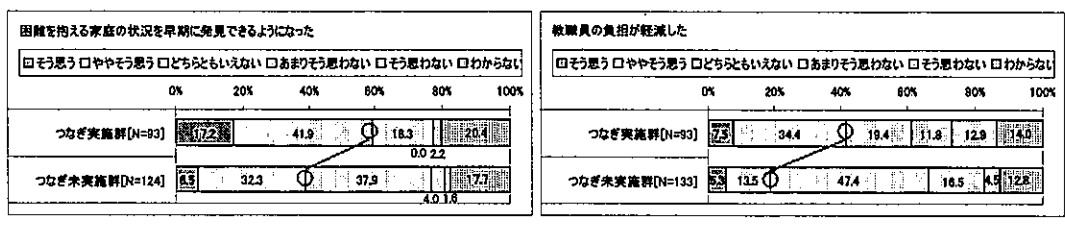
図表 学校の専門機関へのつなぎの効果(チーム型:教職員調査)



### 3 調査結果～チーム型：学校の専門機関へのつなぎの効果②～

■「学校(教職員)が子育てに関する専門機関へのつなぎ」を行っている取組は、そうでない取組に比べ以下の傾向がある。  
 関学校の効果:「困難家庭の状況理解の深まり」、「教職員の負担軽減」で、効果が相対的に大きい(教職員調査)

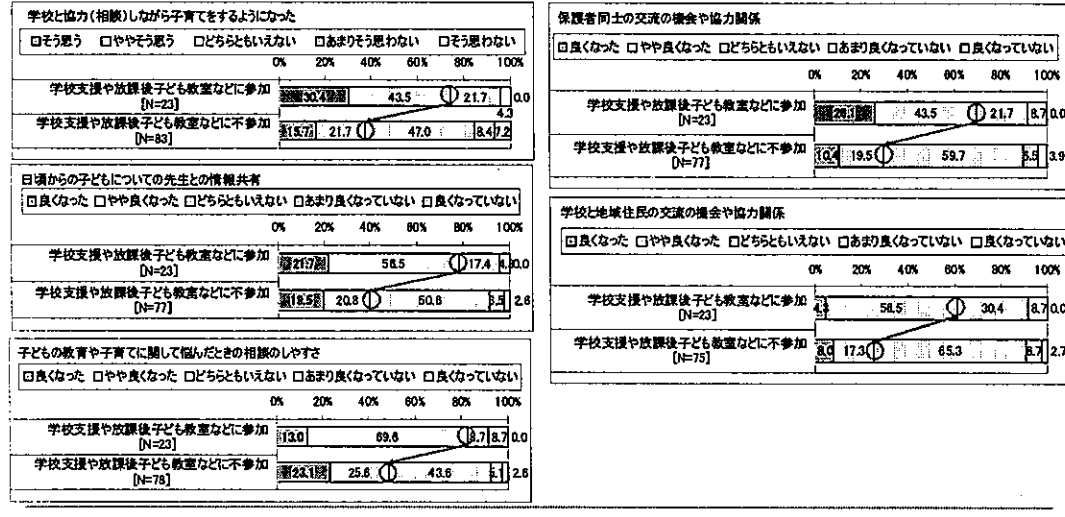
図表 学校の専門機関へのつなぎの効果(チーム型:教職員調査)



### 3 調査結果～チーム型：学校と地域の連携活動への参画の効果①～

■「支援チームが学校支援や放課後子ども教室などにも参加し、子どもとの交流を深めている」取組は、そうでない取組に比べ、家庭や学校への効果について、以下の傾向がある。  
 ■「学校と協力した子育ての実現」、「子どもについての先生との情報共有の円滑化」、「子育て等に悩んだときの学校への相談のしやすさ」、「保護者同士の交流機会や協力関係の改善」、「学校と地域住民の交流機会や協力関係の改善」で、効果が相対的に大きい(保護者調査)

図表 支援チームによる学校と地域の連携活動への参画の効果(チーム型:保護者調査)

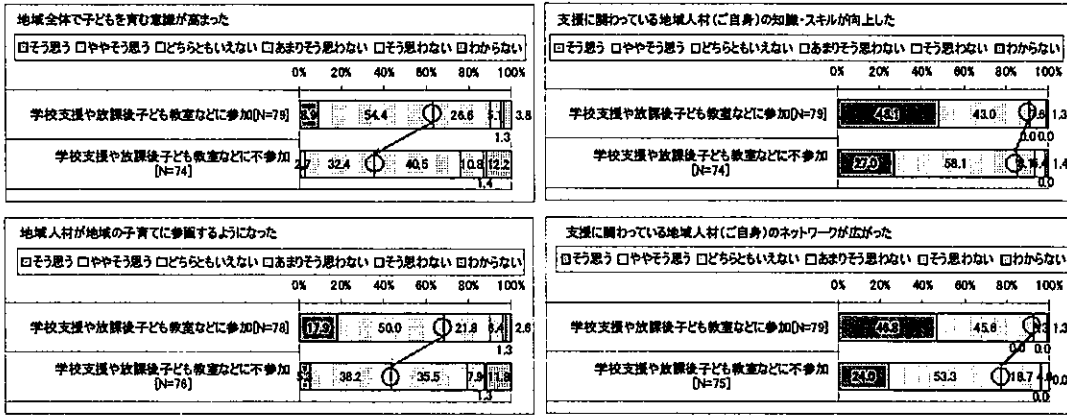


### 3 調査結果～チーム型：学校と地域の連携活動への参画の効果②～

■支援チームが「学校支援や放課後子ども教室などにも参加し、子どもとの交流を深めている」取組は、そうでない取組に比べ、地域への効果について、以下の傾向がある。

■「地域全体での子育て意識の向上」、「地域人材の子育て参画の増加」、「地域人材(支援者)の知識・スキル向上」、「地域人材(支援者)のネットワークの拡大」で、効果が相対的に大きい(支援者調査)

図表 支援チームによる学校と地域の連携活動への参画の効果(チーム型：支援者調査)

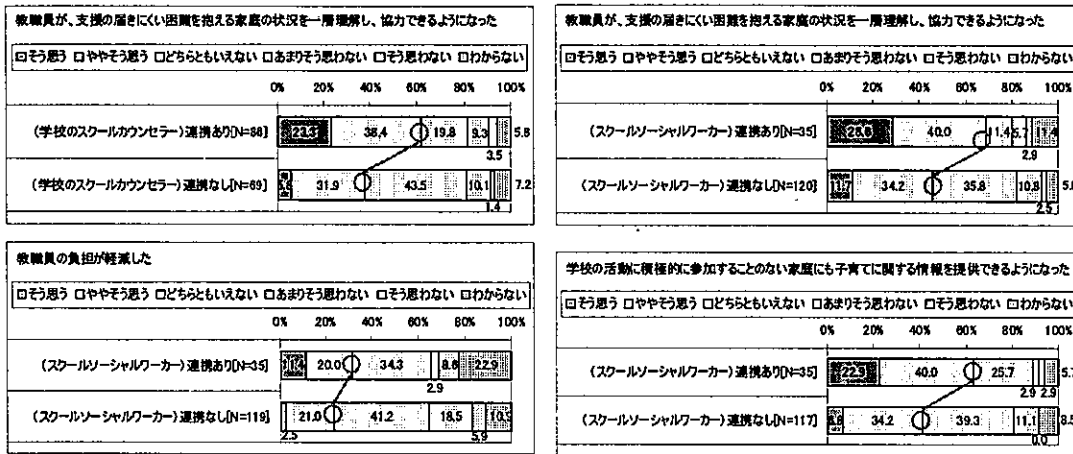


### 3 調査結果～チーム型：スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーとの連携による効果～

■支援チームが「学校のスクールカウンセラーや「スクールソーシャルワーカー」と連携している取組は、そうでない取組に比べ、学校や問題の予防・解決への効果について、以下の傾向がある。

■「困難家庭の状況理解の深まり」、「教職員の負担軽減」、「学校活動の積極参加のない家庭への情報提供」で、効果が相対的に大きい(支援者調査)

図表 スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーとの連携による効果(チーム型：支援者調査)



### 3 調査結果～講座型とチーム型の比較～

■家庭の効果:いずれの項目においてもチーム型のほうが講座型に比べ効果が大きい。いずれも「必要な知識・意欲の向上」の効果ももっとも大きい。チーム型では、「悩み・不安・孤立感の軽減」で、それとほぼ同等の効果がみられる。  
 ■学校の効果:いずれの項目においてもチーム型のほうが講座型に比べ効果が大きい。講座型は、「保護者同士の交流機会・協力関係」の効果ももっとも大きかったのに対し、チーム型では、「悩んだときの相談のしやすさ」ももっとも大きい。

図表 家庭の効果(講座型:保護者調査)

	口そう思う	口ややそう思う	口どちらともいえない	口あまりそう思わない	口そう思わない	
	0%	20%	40%	60%	80%	100%
子育てに必要な知識や意欲が高まった(N=210)	22.1	52.8	20.5	4.1	1.4	
子育てに対して悩みや不安、孤立感が軽減した(N=209)	13.0	41.4	36.8	9.0	2.8	
家族で協力しながら子育てができるようになった(N=207)	30.2	27.9	48.2	7.9	4.8	
学校と協力(相談しながら)子育てをするようになった(N=208)	7.0	27.0	51.7	8.2	4.4	
地域とつながりを持ちながら、子育てができるようになった(N=207)	3.1	23.1	59.8	11.8	5.5	
子育てに関して必要な情報を必要ときに入手できるようになった(N=208)	3.1	25.2	52.5	10.4	5.5	
子育てに関して必要ときに身近な相手に相談できるようになった(N=208)	1.0	29.6	48.3	6.9	4.4	

図表 家庭の効果(チーム型:保護者調査)

	口そう思う	口ややそう思う	口どちらともいえない	口あまりそう思わない	口そう思わない	
	0%	20%	40%	60%	80%	100%
子育てに必要な知識や意欲が高まった(N=111)	32.4	45.0	18.9	1.5	1.8	
子育てに対して悩みや不安、孤立感が軽減した(N=111)	33.3	39.6	18.0	4.4	2.7	
家族で協力しながら子育てができるようになった(N=111)	22.5	32.4	33.3	6.4	6.3	
学校と協力(相談しながら)子育てをするようになった(N=108)	18.5	28.4	41.5	7.5	5.7	
地域とつながりを持ちながら、子育てができるようになった(N=111)	20.7	24.3	44.1	7.3	4.5	
子育てに関して必要な情報を必要ときに入手できるようになった(N=111)	23.4	38.7	28.8	6.3	2.7	
子育てに関して必要ときに身近な相手に相談できるようになった(N=110)	27.3	32.7	30.0	4.5	5.5	

図表 学校の効果(講座型:保護者調査)

	口良かった	口やや良かった	口どちらともいえない	口あまり良くない	口良くない	
	0%	20%	40%	60%	80%	100%
日頃からの子どもについての先生との情報共有(N=208)	10.4	25.1	55.9	4.4	3.0	
子どもの教育や子育てに関して悩んだときの相談のしやすさ(N=208)	9.8	24.2	57.8	6.3	2.9	
保護者同士の交流の機会や協力関係(N=208)	8.9	29.4	54.5	4.1	3.1	
学校と地域住民の交流の機会や協力関係(N=208)	5.7	20.2	55.3	6.1	3.8	

図表 学校の効果(チーム型:保護者調査)

	口良かった	口やや良かった	口どちらともいえない	口あまり良くない	口良くない	
	0%	20%	40%	60%	80%	100%
日頃からの子どもについての先生との情報共有(N=100)	20.0	29.0	43.0	6.0	2.0	
子どもの教育や子育てに関して悩んだときの相談のしやすさ(N=107)	20.8	35.8	35.6	5.9	2.0	
保護者同士の交流の機会や協力関係(N=100)	14.0	25.0	51.0	7.0	3.0	
学校と地域住民の交流の機会や協力関係(N=98)	7.1	20.5	57.1	7.0	2.0	

### 3 調査結果～早寝:家庭/子どもに関する効果～

■家庭の効果:「必要な知識・意欲の向上(64%)」、「家族で協力した子育て(36%)」、「悩み・不安・孤立感の軽減(35%)」(保護者調査)が上位  
 ■子どもの効果:「生活習慣の改善(50%)」、「社会性の向上(40%)」、「体力の向上(36%)」が上位(保護者調査)

図表 家庭の効果(早寝:保護者調査)

	口そう思う	口ややそう思う	口どちらともいえない	口あまりそう思わない	口そう思わない	
	0%	20%	40%	60%	80%	100%
子育てに必要な知識や意欲が高まった(N=94)	15.5	48.0	28.2	3.4	3.1	
子育てに対して悩みや不安、孤立感が軽減した(N=94)	8.0	26.5	51.4	7.4	6.7	
家族で協力しながら子育てができるようになった(N=95)	9.5	28.3	48.1	9.1	6.0	
学校と協力(相談しながら)子育てをするようになった(N=95)	2.4	21.2	53.9	11.2	6.5	
地域とつながりを持ちながら、子育てができるようになった(N=95)	3.1	17.4	57.8	11.9	9.2	
子育てに関して必要な情報を必要ときに入手できるようになった(N=95)	4.1	19.7	58.7	10.4	8.4	
子育てに関して必要ときに身近な相手に相談できるようになった(N=97)	3.5	23.8	50.5	8.8	7.6	

図表 子どもの効果(早寝:保護者調査)

	口そう思う	口ややそう思う	口どちらともいえない	口あまりそう思わない	口そう思わない	口わからない
	0%	20%	40%	60%	80%	100%
子どもの生活習慣が改善された(N=158)	12.1	38.3	35.1	6.8	3.2	2.1
子どもの学習意欲が向上した(N=158)	2.4	24.9	49.8	11.2	4.9	2.5
子どもの体力が向上した(N=158)	3.4	28.4	46.9	10.2	4.8	2.2
子どもの社会性が高まった(あいさつをする等)(N=158)	3.7	30.1	44.7	8.1	4.1	2.1
子どもの「自ら学び自ら考える力」が高まった(N=158)	2.4	25.0	51.6	9.7	4.0	2.5

図表 家庭の効果(早寝:教職員調査)

	口そう思う	口ややそう思う	口どちらともいえない	口あまりそう思わない	口そう思わない	口わからない
	0%	20%	40%	60%	80%	100%
保護者の子育てに関する知識や意欲が高まった(N=41)	1.2	36.8	44.0	10.2	4.5	1.2
保護者の子育てに関する悩みや不安、孤立感が軽減した(N=41)	12.0	11.9	13.9	10.2	1.3	1.3

図表 子どもの効果(早寝:教職員調査)

	口そう思う	口ややそう思う	口どちらともいえない	口あまりそう思わない	口そう思わない	口わからない
	0%	20%	40%	60%	80%	100%
子どもの生活習慣が改善された(N=41)	5.6	48.4	37.2	6.0	3.1	0.7
子どもの学習意欲が向上した(N=41)	1.7	38.0	49.4	8.9	1.2	2.9
子どもの体力が向上した(N=41)	1.4	28.0	58.9	9.8	1.0	3.1
子どもの社会性が高まった(あいさつをする等)(N=41)	3.1	33.5	49.8	8.8	1.7	2.2
子どもの「自ら学び自ら考える力」が高まった(N=41)	0.7	20.0	57.9	15.6	1.9	3.8



### 3 調査結果～早寝：学校／地域に関する効果～

■学校の効果:「教職員と保護者の信頼関係の強化(23%)」、「教職員と地域住民の信頼関係の強化(21%)」が上位(教職員調査)  
 全般的に支援者調査結果のほうが高い効果  
 ■地域の効果:「地域人材(支援者)のネットワークの拡大(83%)」、「地域全体での子育て意識の向上(74%)」が上位(支援者調査)

**図表 学校の効果(早寝:教職員調査)**

	0%	20%	40%	60%	80%	100%
教職員と保護者の間の信頼・協力関係が強まった(N=418)	22.2	54.8	13.4	5.0	1.2	3.9
教職員と地域住民の間の信頼・協力関係が強まった(N=418)	19.4	55.3	13.9	6.5	1.4	3.9
教職員の、支援の届きにくい困難を抱える家庭の状況に対する理解が深まり、協力できるようになった(N=417)	20.4	57.1	11.5	6.5	1.4	3.1
教職員の負担が軽減した(N=417)	46.0	30.7	17.5	2.9	0.0	2.9

**図表 地域の効果(早寝:教職員調査)**

	0%	20%	40%	60%	80%	100%
地域全体で子どもを育む意識が高まった(N=417)	27.8	45.8	13.4	7.3	2.9	3.8
地域の中で子育てに関わる意識や知識を有する人材が増えた(N=416)	15.4	50.7	14.4	14.2	1.2	3.1
地域人材が地域の子育て支援に参画するようになった(N=416)	17.1	49.3	12.9	14.4	2.5	3.1

**図表 学校の効果(早寝:支援者調査)**

	0%	20%	40%	60%	80%	100%
教職員と保護者の間の信頼・協力関係が強まった(N=48)	23.9	39.1	21.7	8.7	0.0	0.0
教職員と地域住民の間の信頼・協力関係が強まった(N=48)	28.1	28.3	21.7	13.0	10.0	0.0
教職員が、支援の届きにくい困難を抱える家庭の状況を一層理解し、協力できるようになった(N=45)	17.8	31.1	22.2	11.1	13.3	4.4
教職員の負担が軽減した(N=45)	8.9	35.6	29.9	17.8	0.0	0.0

**図表 地域の効果(早寝:支援者調査)**

	0%	20%	40%	60%	80%	100%
地域全体で子どもを育む意識が高まった(N=45)	28.7	48.7	17.8	6.7	2.2	0.0
地域の中で子育てに関わる知識・スキルを有する人材が増えた(N=48)	17.4	43.5	28.1	4.4	2.2	0.0
地域人材が地域の子育てに参画するようになった(N=46)	17.4	39.1	21.7	8.7	8.7	0.0
支援に関わっている地域人材(ご自身)の知識・スキルが向上した(N=48)	23.9	41.3	26.1	4.4	0.0	0.0
支援に関わっている地域人材(ご自身)のネットワークが広がった(N=46)	34.8	47.8	13.0	4.3	0.0	0.0
支援に関わっている地域人材(ご自身)の生きがいが増えた(N=46)	17.4	47.8	21.7	8.5	0.0	0.0

